



平成 20 年 4 月 28 日

各 位

会社名 日本興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂口 昌平
(JASDAQ・コード 5279)
問合せ先 執行役員総務部長 山口 芳美
(TEL. 087-894-8130)

平成 20 年 3 月期業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 19 年 11 月 16 日付当社「平成 20 年 3 月期中間決算短信」および平成 20 年 1 月 23 日付「平成 20 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました連結および個別の業績予想ならびに期末配当金の予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期の連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	19,800	240	200	150
今回修正予想 (B)	18,406	120	90	65
増 減 額 (B-A)	△1,394	△120	△110	△85
増 減 率 (%)	△7.0	△50.0	△55.0	△56.7
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	19,589	143	115	133

2. 通期の個別業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	18,800	220	180	140
今回修正予想 (B)	17,463	105	80	60
増 減 額 (B-A)	△1,337	△115	△100	△80
増 減 率 (%)	△7.1	△52.3	△55.6	△57.1
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 3 月期)	18,637	128	107	133

3. 修正の理由

(連結業績予想の修正の理由)

売上高は、前回予想を13億94百万円下回る184億6百万円となる見込みであります。なお、部門別売上高は、都市環境部門では大型物件の受注が減少したことなどにより60億66百万円、エクステリア部門では改正建築基準法の施行により新設住宅着工戸数が大幅に減少しましたがほぼ前年並みの24億43百万円、土木部門では、公共事業の減少や民間物件の低価格化傾向などの影響により98億96百万円の見込みであります。

損益面につきましては、売上高の減収ならびに原材料費の高騰などの理由により、営業利益は前回予想より1億20百万円下回る1億20百万円、経常利益は同1億10百万円下回る90百万円、当期純利益につきましては、特別損益の計上ならびに経常利益が下回ったことにより、前回予想より85百万円下回る65百万円の見込みであります。

(個別業績予想の修正の理由)

連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高は前回予想を13億37百万円下回る174億63百万円となる見込みであります。また、営業利益は同1億15百万円下回る1億5百万円、経常利益は同1億円下回る80百万円、当期純利益は同80百万円下回る60百万円となる見込みであります。

4. 平成21年3月期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、本年5月の決算発表時に公表いたします。

(注) 上記の連結業績予想および個別業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

5. 配当予想の修正

(1) 修正の理由

当期の期末配当金につきましては、1株につき3円を予定しておりましたが、通期業績予想の修正の通り、平成20年3月期において当期純利益が大幅に減益となる見込みであること、ならびに適正な配当性向を勘案し、誠に遺憾ながら配当を1円減額して、1株当たり2円に修正する予定であります。

なお、本件は、本年5月に開催予定の取締役会にて付議する予定であります。

(2) 修正の内容

	1株あたり期末配当金	1株年間配当金
前回予想 (平成19年11月16日公表)	3円00銭	3円00銭
今回修正 (ご参考)	2円00銭	2円00銭
前期実績(平成19年3月期)	3円00銭	3円00銭

以 上